

専門医筆記試験出題問題（第9回より抜粋）

1 誤っている組合せはどれか。

- a APC ————— 大腸癌
- b VEGF ————— 浸潤・転移
- c replication error ——— 単発癌
- d cyclin D1 ————— 食道癌
- e p53 ————— アポトーシス

2 10年来、慢性腎不全にて透析中の患者の消化器病術後病態として正しいのはどれか。

- (1) 代謝性アルカローシスが生じやすい。
 - (2) 血漿フィブロネクチン値が上昇する。
 - (3) 虚血性結腸炎が発生しやすい。
 - (4) 消化管出血が発生しやすい。
 - (5) 脳梗塞を併発しやすい。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

3 エンドトキシンショックについて正しいのはどれか。

- (1) グラム陰性桿菌感染による。
 - (2) 肺内シャントが増加する。
 - (3) 呼吸性アシドーシスを来す。
 - (4) Hyperdynamic state では血圧が上昇する。
 - (5) Hypodynamic state では末梢血管抵抗が増加する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5)
c (1), (4), (5) d (2), (3), (4)
e (3), (4), (5)

4 65歳の男性。十二指腸乳頭部癌のため、幽門輪温存脾頭十二指腸切除術を施行した。術後胃内容停滞が長期にわたり、経口摂取不能のため、高カロリー輸液を続けていたが、術後28日目に突然意識障害が出現した。

身体所見：意識混濁，体温 36.5，血圧 100/65 mmHg，脈拍 120/分，呼吸数 28/分

腹部所見：圧痛，筋性防御を認めず。

血液検査所見：赤血球 327万，Hb 9.9g/dl，白血球 8,000，血小板 24.1万，総蛋白 5.9g/dl，血清アルブミン 2.5g/dl，GOT 20単位，GPT 12単位，総ビリルビン 1.0mg/dl，血清アマラーゼ 55単位，尿素窒素 30mg/dl，クレアチニン 0.5mg/dl，CRP 2.1mg/dl，Na 129

mEq/l，K 5.1mEq/l，Cl 99mEq/l，動脈血 O₂分圧 90.3 mmHg，CO₂分圧 22.3mmHg，pH 7.129，BE - 16.8 mEq/l，血清浸透圧 450mOsm/l

現在の病態で考えられるのはどれか。

- (1) 血中セレンは著減している。
 - (2) Fisher 比（BCAA/AAA）は低値を示す。
 - (3) 血清浸透圧は低下している。
 - (4) ビルビン酸脱水素酵素の活性は低下している。
 - (5) 尿中ケトン体は陰性である。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

5 各疾患の好発部位として誤っている組合せはどれか。

- a Zenker's diverticulum ——— 下咽頭
- b Boerhaave syndrome ——— 中部食道
- c Mallory-Weiss syndrome ——— 食道胃接合部
- d Plummer-Vinson 症候群 ——— 頸部食道
- e leiomyoma ————— 下部食道

6 アカラシアについて正しいのはどれか。

- (1) 蠕動波は食道全長に渡り消失する。
 - (2) 外縦筋より内輪筋が著明な肥厚を示す。
 - (3) 食道内圧検査において食道胃接合部(LES)の陰性波が消失する。
 - (4) Meissner 神経叢細胞が変性，または消失している。
 - (5) 手術法として Ramstedt 法がある。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

7 52歳の男性。1か月前よりつかえ感が出現し、昨日ステーキを食べたところ嚥下困難を来し嘔吐した。体重減少は認められない。

上部消化管造影像（写真 1a）と CT 像（写真 1b）を示す。

正しいのはどれか。

- (1) 病変は胸部下部食道（Ei）に存在する。
- (2) 軸変位は認められない。
- (3) 示指頭大の飛び石転移が胸部中部食道（Im）に認められる。
- (4) 狭窄部の肛側に後方からの圧排像を認める。

- (5) A₃(大動脈)である。
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (5)
 c (1), (4), (5) d (2), (3), (4)
 e (3), (4), (5)

8 正しい組合せはどれか。

- a 胃憩室——胃体部
 b 高齢者胃潰瘍——幽門部
 c ダンピング症候群——ブラジキニン
 d プロスタグランジン誘導体——セロトニン拮抗薬
 e 胃平滑筋腫——粘膜下層

9 胃・十二指腸潰瘍について正しいのはどれか。

- (1) 急性胃粘膜病変では胃粘膜内ペプシン濃度は低下する。
 (2) 消化性潰瘍出血は夏に多い。
 (3) 選択的迷切では幽門洞枝は切離される。
 (4) 急性胃粘膜病変からの出血では露出血管は認められないことが多い。
 (5) 十二指腸潰瘍では血清ガストリンは高値となる。
 a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
 d (3), (4) e (4), (5)

10 胃癌について正しいのはどれか。

- (1) 未分化型癌(印環細胞癌, 低分化腺癌)は腺頸部より発生する。
 (2) 胃癌では p53 蛋白の過剰発現が約 60% において認められる。
 (3) 胃癌のリンパ節転移は, m 癌で約 10%, sm 癌では約 40% である。
 (4) 幽門輪温存術式では通常幽門輪より約 4cm を温存する。
 (5) 胃癌取扱い規約では, P₀, H₀, M₀, se, n₁, ow, aw 症例に D₂ を施行しても根治度は B である。
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (5)
 c (1), (4), (5) d (2), (3), (4)
 e (3), (4), (5)

11 75歳の男性。検診にて胃に異常を指摘され、手術目的にて当科入院。

内視鏡所見(写真 2a)と超音波内視鏡所見(写真

2b)を示す。

摘出標本の免疫染色では, vimentin(+), desmin(-), smooth muscle actin(-), S-100(-)で, 核分裂像は400倍50視野で1~2個であった(写真2c)。

本症例について正しいのはどれか。

- (1) 再発形式は肝転移再発が最も多い。
 (2) D₂郭清が必要である。
 (3) HE染色では低分化腺癌との鑑別が困難である。
 (4) いわゆる stromal tumor で良性疾患と考えてよい。
 (5) 胃部分切除でよい。
 a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
 d (3), (4) e (4), (5)

12 遺伝性非ポリポージス性大腸癌について誤っているのはどれか。

- a 常染色体優性遺伝性疾患である。
 b 大腸多発癌を認めることが多い。
 c 一親等に3人以上の大腸癌を認める。
 d 左側大腸癌の頻度が高い。
 e 子宮体癌は合併病変の一つである。

13 疾患と治療法で誤っている組合せはどれか。

- a 裂肛——lateral sphincterotomy
 b 出血性内痔核——sclerosing therapy
 c 脱出性内痔核——Thiersch法
 d 単純性痔瘻——coring out法
 e Crohn病の複雑痔瘻——seton法

14 小腸腫瘍について正しいのはどれか。

- (1) 腺癌よりも悪性リンパ腫の発生頻度が高い。
 (2) 腺癌や平滑筋肉腫は空腸に多く, 悪性リンパ腫は回腸に多い。
 (3) 平滑筋肉腫では顕出血, 腺癌では持続性の潜出血が多い。
 (4) イレウス症状は腺癌よりも悪性リンパ腫に多い。
 (5) 成人腸重積症のほとんどは小腸悪性腫瘍に起因する。
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (5)
 c (1), (4), (5) d (2), (3), (4)
 e (3), (4), (5)

15 55歳の男性。水様性下痢と脱毛を主訴として来院した。大腸内視鏡検査では大腸全域にわたり大小様々な多発性ポリープを認め(写真3a),生検の病理組織像では腺管の嚢胞状拡張が認められた(写真3b)。

正しいのはどれか。

- (1) 常染色体優性遺伝疾患である。
- (2) 爪甲の萎縮・脱落を伴うことが多い。
- (3) 味覚異常・口渇症状を伴うことがある。
- (4) 蛋白漏出による低蛋白血症を来しやすい。
- (5) 中枢神経系腫瘍を伴いやすい。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5)
- c (1), (4), (5) d (2), (3), (4)
- e (3), (4), (5)

16 疾患と治療の組合せで誤っているのはどれか。

- a Hassab 手術———胃静脈瘤
- b 生体部分肝移植———胆道閉鎖症
- c 体外衝撃波胆石破砕療法——肝内結石症
- d 亜区域切除———肝硬変合併肝癌
- e Longmire-Sanford 手術——肝血管腫

17 肝の解剖や肝切除時の注意点について正しいのはどれか。

- (1) 上腸間膜動脈から肝動脈が分岐する場合,その肝動脈は肝左葉に分布することが多い。
- (2) 左肝静脈と中肝静脈は合流して共通管を形成することが多い。
- (3) Spiegel 葉に流入する門脈枝は,門脈左枝(第1次分枝)から分岐することが多い。
- (4) 右後区域胆管枝が左胆管に合流する場合があるので,肝切除の際には注意を要する。
- (5) 肝のリンパ系は肝門系と後腹膜系がある。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5)
- c (1), (4), (5) d (2), (3), (4)
- e (3), (4), (5)

18 65歳の女性。肝腫瘍を指摘され来院した。腹部超音波検査(写真4a)と肝動脈造影写真(写真4b)を示す。

腫瘍の占居部位はどれか。

- a S₄
- b S₅
- c S₆
- d S₇
- e S₈

19 28歳の女性。上腹部痛を主訴に来院。ERCP(写真5a)とCT(写真5b)を示す。

病態で誤っているのはどれか。

- a Rokitsansky Aschoff Sinus の増殖がある。
- b 胆汁中のアミラーゼが高値である。
- c Alonso-Lej III 型である。
- d 胆嚢壁肥厚を認める。
- e 膵胆管合流異常を認める。

20 炭酸ガスを使用した腹腔鏡下手術で生じやすい問題点はどれか。

- (1) 視野不良
 - (2) 助燃性
 - (3) 非水溶性
 - (4) アシドーシス
 - (5) 圧外傷
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
 - d (3), (4) e (4), (5)

写真 1a (問7)

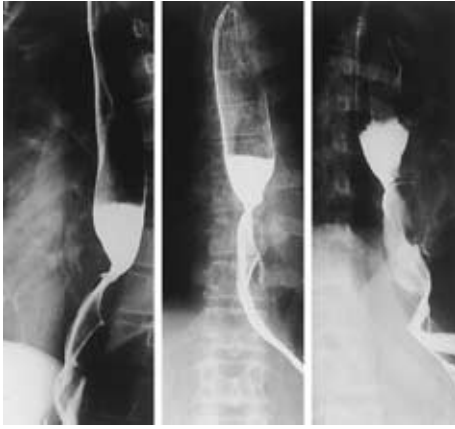


写真 2b (問11)

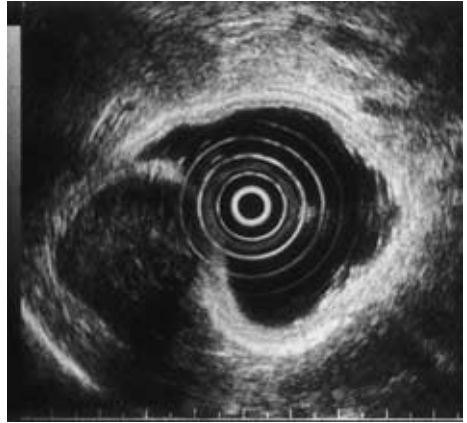


写真 1b (問7)

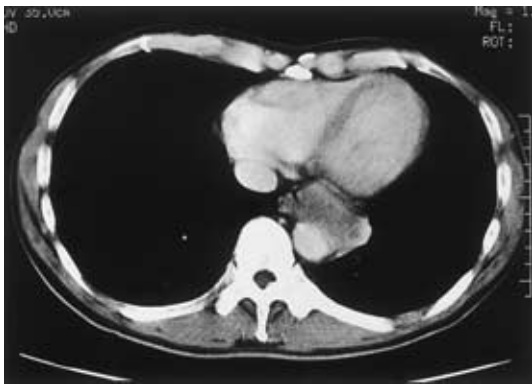


写真 2c (問11)

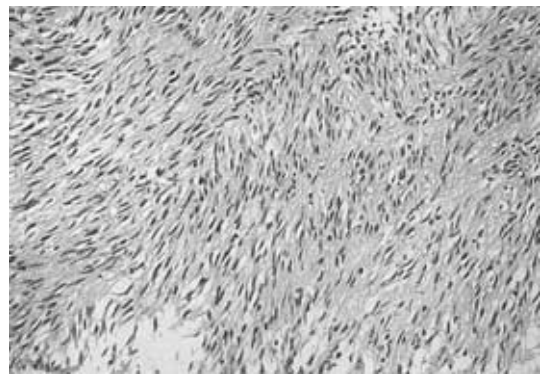


写真 2a (問11)

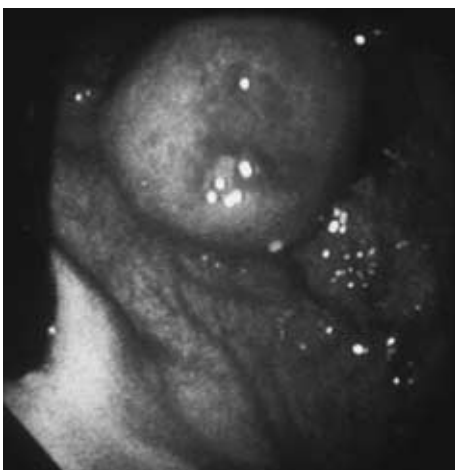


写真 3a (問15)

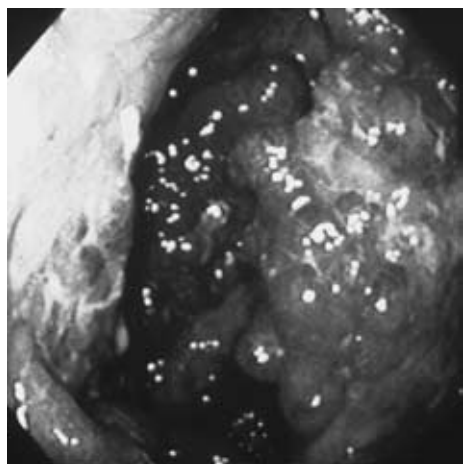


写真 3b (問15)

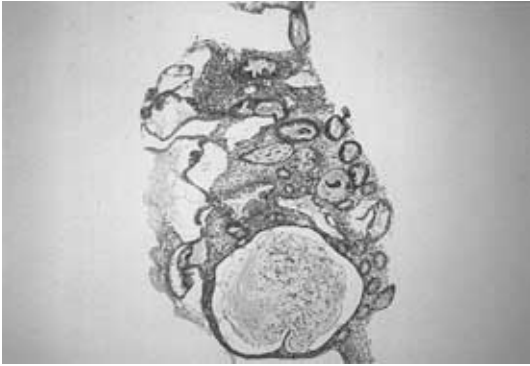


写真 5a (問19)



写真 4a (問18)

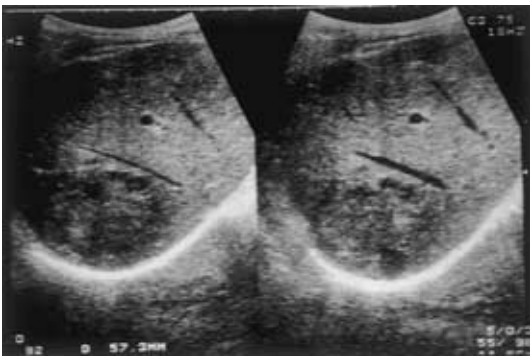


写真 5b (問19)

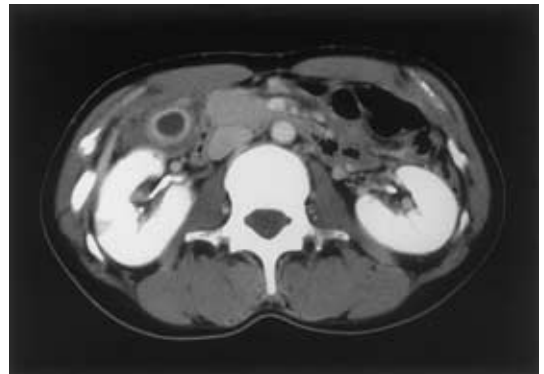


写真 4b (問18)

